

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【公開番号】特開2017-79072(P2017-79072A)

【公開日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-017

【出願番号】特願2016-214250(P2016-214250)

【国際特許分類】

G 06 F 17/22 (2006.01)

G 06 F 21/60 (2013.01)

【F I】

G 06 F 17/22 6 7 6

G 06 F 21/60 3 8 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月26日(2017.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムが実装されたマスキング装置であって、マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムが、

文字列置換表生成部のプログラムと；

マスキング処理部のプログラムと；

出力指示部のプログラムと；

を有し、

該マスキング装置が、

文字列置換表生成部のプログラムに従って、該マスキング装置と通信ネットワークを介してデータ交信するクライアント・コンピュータから受信したリクエストに呼応して、文字又は文字列の少なくとも一部を所定のマスク文字(又はマスク記号)に置換する、所定の期間のみ有効な、文字列置換表(又は置換ルール)を、任意の時刻において、自動的に生成し、次に、自動生成された文字列置換表(又は置換ルール)を、該マスキング装置の内部(又は外部)の記憶装置に格納し；

マスキング処理部のプログラムに従って、

i) 通信ネットワークを介して該マスキング装置とデータ交信する業務システム・サーバーと交信して、マスキング対象のドキュメント・ファイルを取得し、該取得したドキュメント・ファイルを、前記生成された文字列置換表(又は置換ルール)と1対1の対応で関連付けた形態で、該マスキング装置の内部(又は外部)の記憶装置に格納し；

ii) 前記記憶装置から、前記文字列置換表(又は置換ルール)、前記ドキュメント・ファイルを取出して、該取り出した文字列置換表(又は置換ルール)に基づいて、前記ドキュメント・ファイルに含まれる置換前文字列のデータを置換後文字列のデータに置換することでマスキング処理を実行して、マスキング後のドキュメント・ファイルを作成し、それを前記記憶装置に格納し；

出力指示部のプログラムに従って、前記マスキング後のドキュメント・ファイルを、前記記憶装置から取り出して、それを、通信ネットワークを介して該マスキング装置とデータ交信する出力装置に送信する、

ことを特徴とするマスキング装置。

#### 【請求項 2】

前記置換後文字列のデータが、前記置換前文字列の中から前記マスキング装置がランダムに選んだ文字を、マスク文字に置換したものであり、該ランダムに選ぶプロセスが、前記マスキング装置が自動生成した乱数に基づくことで該ランダム性を担保していることを特徴とする請求項 1 に記載のマスキング装置。

#### 【請求項 3】

前記マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムが、更に、ユーザーの認証を実行する認証処理部のプログラムを有し、  
文字列置換表（又は置換ルール）は、許可されたユーザー以外は出力できない、  
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のマスキング装置。

#### 【請求項 4】

前記マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムが、更に、付加情報生成部のプログラムを有し、

前記マスキング装置が、前記マスキング処理部のプログラムを立ち上げる前に、付加情報生成部のプログラムに従って、付加情報を生成し、該生成された付加情報を、前記生成された文字列置換表（又は置換ルール）と 1 対 1 の対応で関連付けた形態で、該マスキング装置の内部（又は外部）の記憶装置に格納し；

前記マスキング処理部のプログラムに従って、前記 i i ) のステップに後続して、前記記憶装置から、前記文字列置換表（又は置換ルール）に対応する付加情報と、前記マスキング後のドキュメント・ファイルを取出して、該マスキング後のドキュメント・ファイルに該付加情報を付加して、それを前記記憶装置に格納し；

出力指示部のプログラムに従って、前記付加情報の加えられた前記マスキング後のドキュメント・ファイルを、前記記憶装置から取り出して、それを、通信ネットワークを介して該マスキング装置とデータ交信する出力装置に送信し、

マスキングされたドキュメント上に出力された付加情報を、クライアント・コンピュータを介して、ユーザーが、マスキング・サーバーに対して、当該付加情報が出力されたときのマスキング後のドキュメントを作成するに際して使用された文字列置換表（又は、置換ルール）の出力リクエストと共に送信すると、それに呼応して、マスキング装置が、認証処理部のプログラムに従って、当該リクエスト（又は、当該リストを出したユーザー若しくは当該リクエストの発信源であるクライアント・コンピュータの ID 等）の認証を実行し、確実に認証されたときには、上記付加情報に基づいて、記憶装置に格納された文字列置換表（又は、置換ルール）を該記憶装置から取得して、これを出力処理部のプログラムに従って、出力装置に送信する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載のマスキング装置。

#### 【請求項 5】

マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムであって、

文字列置換表生成部のプログラムと；

マスキング処理部のプログラムと；

出力指示部のプログラムと；

を有し、

その使用時において、該マスキング装置制御ソフトウェア・プログラムを実装した任意のコンピュータ・システムが、

文字列置換表生成部のプログラムに従って、該コンピュータ・システムと通信ネットワークを介してデータ交信するクライアント・コンピュータから受信したリクエストに呼応して、文字又は文字列の少なくとも一部を所定のマスク文字（又はマスク記号）に置換する

、所定の期間のみ有効な、文字列置換表（又は置換ルール）を、任意の時刻において、自動的に生成し、次に、自動生成された文字列置換表（又は置換ルール）を、該コンピュータ・システムの内部（又は外部）の記憶装置に格納し；

マスキング処理部のプログラムに従って、

i ) 通信ネットワークを介して該コンピュータ・システムとデータ交信する 業務システム・サーバーと交信して、マスキング対象のドキュメント・ファイルを取得し、該取得したドキュメント・ファイルを、前記生成された文字列置換表(又は置換ルール)と1対1の対応で関連付けた形態で、該コンピュータ・システムの内部(又は外部)の記憶装置に格納し；

i i ) 前記記憶装置から、前記文字列置換表（又は置換ルール）、前記ドキュメント・ファイルを取出して、該取り出した文字列置換表(又は置換ルール)に基づいて、前記ドキュメント・ファイルに含まれる置換前文字列のデータを置換後文字列のデータに置換することでマスキング処理を実行して、マスキング後のドキュメント・ファイルを作成し、それを前記記憶装置に格納し；

出力指示部のプログラムに従って、前記マスキング後のドキュメント・ファイルを、前記記憶装置から取り出して、それを、通信ネットワークを介して該コンピュータ・システムとデータ交信する出力装置に送信する、

ことを特徴とするマスキング装置制御ソフトウェア・プログラム。